

# 経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師・介護福祉士受入関係事業

～ 厚生労働省関係予算 ～

平成24年度概算要求額：

**379,948 (400,114) 千円**

**医療提供体制推進事業費補助金[255億円]の内数**

**セーフティネット補助金[230億円]の内数**

※（ ）内は平成23年度予算額

<b>1 看護・介護導入研修、巡回指導等</b>	<b>156,860 (153,952) 千円</b>
--------------------------	-----------------------------

## (1) 看護・介護導入研修等

- 入国した看護師・介護福祉士候補者に対して、受入施設で就労する前の看護・介護分野の基礎研修や就労ガイダンスを実施。

## (2) 受入施設巡回指導・相談窓口

- 受入施設を巡回訪問し、看護師・介護福祉士候補者の就労・研修の状況を把握。必要な場合は雇用管理に関する指導や研修方法等の指導を実施。（看護専門家・介護専門家や日本語専門家が同行）
- 看護師・介護福祉士候補者や受入施設からの相談・苦情対応

## (3) 国家試験問題の翻訳（インドネシア語・英語）

- 過去の国家試験問題を翻訳し候補者へ提供

## (4) 受入施設研修担当者会議

- 受入の好事例の発表
- 施設同士の情報共有の場を提供

<b>2 看護師候補者受入施設に対する研修支援</b>
-----------------------------

## (1) 受入施設における研修指導に対する支援

**医療提供体制推進事業費補助金[255億円]の内数**

- 受入施設の研修支援体制の充実を図るため研修指導者経費、物件費等を支援

※ 1施設当たり461千円

## (2) 受入施設における日本語学習に対する支援

医療提供体制推進事業費補助金[255億円]の内数

- 就労上必要な日本語能力の向上を図るため、日本語学校等への修学又は講師の派遣による研修の実施等に係る経費を支援

※ 候補者1人当たり117千円

## (3) 国家試験受験に向けた日本語能力・看護専門知識に関する学習支援

102,348(116,894)千円

- eラーニング学習システムを活用し候補者個々の習得状況の確認や苦手分野等の分析などの学習管理ができる環境を整備
- eラーニング学習システムやテキストによる学習教材を提供し日々の継続的な自己学習を支援
- 模擬試験による習得状況の把握や苦手分野等を補完する集合研修を定期的に実施し、国家試験受験に向けた計画的な学習を支援
- eラーニング学習システムを活用した専門家によるアドバイスや巡回訪問による対面での学習指導を実施

## 3 介護福祉士候補者に対する学習支援

### (1) 受入施設が行う候補者の学習に対する支援

セーフティネット補助金[230億円]の内数

- 受入施設が行う候補者の日本語学習や介護分野の専門学習の費用を補助(日本語講師や養成校教員等の受入施設への派遣、日本語学校への通学、民間業者が実施する模擬試験への参加等)

※ 候補者1人当たり年間235千円以内

### (2) 日本語および介護分野の専門知識等の習得に関する支援

120,740(129,268)千円

- 受入施設における候補者の継続的な学習を支援するため、
    - ・ 日本語習得のための集合研修に加え、介護福祉士として必要な専門知識や技術、日本の社会保障制度等を学ぶ集合研修
    - ・ 就労2年目および3年目の候補者に対する介護分野の専門知識に関する通信添削指導(定期的な小テスト)
    - ・ 介護福祉士の資格を取得できずに帰国した候補者の母国での再チャレンジ支援(模擬試験の実施等) **新規**
- を実施